

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策等により企業業績の向上、雇用情勢の改善の傾向がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、消費税増税による個人消費への影響の長期化、円安による物価上昇等もあり先行きはなお不透明な状況が続いております。保険財政の健全化の考えの下に、調剤薬局業界ではジェネリック医薬品の使用拡大を促進する施策がとられ、介護業界では平成27年4月から介護報酬の引き下げが行われました。

このような状況の下で、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高7,037百万円(前年同期比7.5%増)、営業利益325百万円(前年同期比11.9%減)、経常利益373百万円(前年同期比7.5%増)、四半期純利益は284百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、処方箋の応需枚数が減少した一方で、処方箋1枚当たりの単価は増加しました。また、前年度に新規出店及びM&Aにより加わった店舗が寄与したこと等により、増収となりました。

この結果、売上高は5,601百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益442百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

② ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、今年3月に介護付有料老人ホーム「わが家 伊勢」(三重県)を開設いたしました。これにより、居住系介護施設は23施設、839床となりました。

前年度にグループ会社化した子会社や新規開設した介護施設が寄与し、売上高は堅調に推移しましたが、収益面においては、介護施設開設にかかる初期費用の負担と介護報酬引下げが影響しました。この結果、売上高は1,056百万円(前年同期比30.0%増)、営業利益31百万円(前年同期比61.0%減)となりました。

③ 医薬品卸事業

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中、積極的な営業活動により売上高は伸長しましたが、一方で、競合が激しさを増す事業環境が収益面に影響しました。この結果、売上高351百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益18百万円(前年同期比48.4%減)となりました。(内部売上を含む売上高は483百万円となり、前年同期比で2.4%増加しました。)

④ 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高29百万円(前年同期比58.3%増)、営業利益14百万円(前年同期比20.2%増)となりました。

また、投資事業におきましては、効率的な運用成績となっております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。